



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

山梨県は、富士山や南アルプスをはじめとする山々に囲まれ、豊かな鉱物資源に恵まれています。また、金山が多く分布する地域でもあります。

このパスファインダーでは、山梨県内の鉱物や岩石について調べるときに役立つ資料を紹介します。

1. 山梨県の鉱物・岩石について調べる

山梨県内で見られる鉱物・岩石などについては、次の資料で調べることができます。

- 『山梨の奇岩と奇石 石のロマンを追って』（石田 高／著 山梨日日新聞社 2002年）【K45/イ】
山梨県の鉱物、岩石などのうち、特別な形をもつ55点について地域ごと紹介しています。索引があり、「七里岩」などの呼び名から調べられ、鉱山・石材採掘地・化石産地の分布図、地質図が付いています。
- 『山梨県地学のガイド 山梨県の地質とそのおいたち』（田中 収／編著 コロナ社 1987年）【K45/オ】
- 『山梨の自然をめぐって』（西宮 克彦／編著 築地書館 1984年）【K45/ニ】
山梨県の地質の特性、鉱物・岩石について、地域ごとに紹介しています。『山梨の自然をめぐって』には、鉱物や岩石、地形の名前などから探せる索引があります。
- 『山梨県の野外地質 野外教育とみどころ』（角田 謙朗／研究代表 山梨大学教育方法等改善プロジェクト 1987年）【K45/ヤマ】
山梨県の地質の特長や、鉱物の分布、岩石の産状、鉱物・岩石の産出地の特長などがまとめられています。主な鉱物一覧表もあります。
- 『山梨県統計書』（山梨県／編・発行 1884年より刊行）
※昭和36・37年版(1964年刊行)から『山梨県統計年鑑』に名称変更
鉱種、採掘量、鉱業権者、従業員数などを調べることができます（掲載がない年度もあります）。

2. 県史・市町村誌(史)で調べる

県史を見ると、山梨県全体の鉱山の分布や、金山の開発、鉱山技術について分かります。

また、市町村誌(史)を見ると、地域ごとの鉱山の歴史や発掘できる鉱物・岩石の種類などが調べられます。

- 『山梨県史 通史編2 中世』『山梨県史 通史編3 近世』（山梨県／編集 山梨日日新聞社 2007年/2006年）【K20/ヤマ】
通史編2には、戦国時代に開発されたと考えられている全県下の金山の分布が掲載されています。また、金山の経営や鉱山技術についてまとめられています。
通史編3には、近世の鉱山の分布や、黒川金山や湯之奥中山金山における採掘について掲載されています。
探している地域の市町村誌(史)を見てみましょう。例えば…
- 『下部町誌』（下部町誌編纂委員会／編 下部町 1981年）【K294/ワタ】
湯の奥金山、川尻金山、栃代金山、満福鉱山、常葉銅山、常葉金山などについて掲載されています。
- 『早川町誌』（早川町教育委員会／編 早川町 1980年）【K294/ハヤ】
茂倉鉱山、大島金山、西之宮金山、保金山、奥沢金山、遠沢金山、広島金山、ねぢ切り金山などについて掲載されています。
- 『都留市史 資料編[5] 近現代』（都留市史編纂委員会／編集 都留市 1993年）【K296/ツル】
「三菱社誌」宝鉱山関係資料（明治36年～昭和5年）が収録されています。

3. 金山について調べる

山梨県は鉱脈に恵まれ、戦国時代から金の採掘が行われていました。金山については、次の資料にまとめられています。

- 『湯之奥金山遺跡の研究 1992 湯之奥金山遺跡学術調査報告書』（湯之奥金山遺跡学術調査団／編 湯之奥金山遺跡学術調査会 1992年）【K56/1/1992】
- 『甲斐黒川金山 山梨県塩山市に所在する戦国時代金山遺跡の総合調査』（黒川金山遺跡研究会／編集 塩山市 1997年）【K56/加】
金山の遺跡・歴史の総合調査報告書です。多くの図版を用いて解説しています。
- 『戦国金山伝説を掘る 甲斐黒川金山衆の足跡』（今村 啓爾／著 平凡社 1997年）【K24/イ】
黒川金山の始まり、採掘・精錬の技術、鉱山町の構造・規模などについて書かれています。巻末には、「黒川金山関係年表」が収録されています。
- 『黒川金山史料』（黒川金山遺跡研究会／編集 塩山市教育委員会 1991年）【K56/加】
黒川金山に関する文書史料集です。
- 『金山衆と中世の鉱山技術 甦る山の世界』（萩原 三雄／著 高志書院 2022年）【K56/ハキ】
甲斐金山の鉱山技術の歴史や金山経営について書かれています。
- 『図説 山梨県の歴史』（磯貝 正義／編 河出書房新社 1990年）【K21/イ】
甲州の金山稼業復元図、砂金と山金の採集の工程が絵入りで解説されています。

◎博物館の図録も、分かりやすくまとめられていて便利です

- 『甲斐黄金村・湯之奥金山博物館展示図録』（甲斐黄金村／編 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 2006年）【K56/カ】
- 『甲斐金山展 山梨県立博物館企画展』（山梨県立博物館 2009年）【K56/ヤマ】
- 『黄金の国々 甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山』（「黄金の国々-甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山-」展実行委員会／編集・発行 2012年）【Y56/ナ】

◎以下の雑誌で、関係する論文を読むことができます

- 「金山史研究」（甲斐黄金村・湯之奥金山博物館）
- 「甲斐路」（山梨郷土研究会）
20号「甲州金の歴史」（入江 芳之助／著）、51号「金山衆『金山之佐渡守』考」（清雲 俊元／著）、58号「黒川金山衆の信仰」（清雲 俊元／著）、80号「下部町湯之奥金山遺跡の調査成果と課題」（榎原 功一／著）

◎郷土の資料以外でも、山梨の金山について調べられます

- 『日本鉱山史の研究』（小葉田 淳／著 岩波書店 1987年）【560.9/コバ】
V章「甲斐・信濃・駿河の金山-武田時代の稼行を中心に-」に、山梨の金山史について書かれています。
- 『日本の鉱山を巡る 上 人と近代化遺産』（園部 利彦／著 弦書房 2015年）【560.9/ソノ/1】
「甲斐の金山・伊豆の金山」の章で、湯之奥の金山が取り上げられています。

4. 専門機関に問い合わせる

- ◆甲斐黄金村・湯之奥金山博物館（ホームページ <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>）
湯之奥金山遺跡からの出土品や鉱山道具などの資料展示、映像シアター、ジオラマを通して、中世戦国期の金山を紹介しています。